

新十津川町役場庁舎建設基本設計業務プロポーザル(第二次審査)に関する質問への回答

平成29年4月19日

No.	質問内容	回 答	回答日
1	プレゼンテーション及びヒアリングには、出席者として参加表明書に記載の監理技術者及び建築(総合)主任技術者、ならびに各主任技術者の中から2名を加えた計4名の他に、パソコン操作者として1名を見込んで宜しいでしょうか。	パソコン操作者を含めて4名までとしてください。	H29.4.11
2	プレゼンテーション及びヒアリングは、技術提案書の内容を変更せずに図表等を拡大使用することは可能でしょうか。	可能です。	H29.4.11
3	基本構想p.7「新庁舎の基本機能」において、文化・交流機能としてバス利用者の待合スペースとありますが、本計画敷地内にバス停を設置すると考えてよろしいでしょうか。また設置場所は提案の内と考えて宜しいでしょうか。	バス停は、現在と同様に敷地内に設置しますので、設置場所は提案の内となります。	H29.4.11
4	基本構想p.14「新庁舎における車庫・倉庫の計画」において、車庫(役場)に格納する大型車両(2台)、ならびに車庫(消防)に格納する車両6台の種類・規格(寸法)をそれぞれお教えてください。	別紙のとおりです。	H29.4.11
5	基本構想p.14「新庁舎における車庫・倉庫の計画」において、車庫(役場)面積は役場面積(2,400~2,800㎡)に含まず、車両(消防)面積は消防面積(600~800㎡)に含むと考えると宜しいでしょうか。	貴見のとおりです。	H29.4.11
6	消防団詰所は計画対象外とのことですが、将来的に、本敷地内に新設すると考えて宜しいでしょうか。	消防団詰所は、敷地外に新設予定です。	H29.4.12
7	消防庁舎に配置する職員数をお教えてください。	13人です。	H29.4.11

新十津川町役場庁舎建設基本設計業務プロポーザル(第二次審査)に関する質問への回答

平成29年4月19日

No.	質問内容	回 答	回答日
8	新十津川町役場庁舎建設基本構想の7ページに消防機能として、③庁舎屋上やホース乾燥塔などを活用した訓練設備とございますが、どのような消防訓練を想定されていますか。	訓練とは、消防・救助・救急訓練のことを言います。なお、消防支署に常時勤務する職員は、支署長を含めて4名程度であるため、大規模な訓練を行うことは想定していません。役場と消防が併設する特徴を活かして、効率的に訓練ができる機能を求めるものです。	H29.4.17
9	役場敷地内バス停に発着するバス路線は、現状と同じと考えてよろしいでしょうか。	貴見のとおりです。	H29.4.17
10	提出書類及び提出部数について、様式8及び様式9の15部の提出形態はダブルクリップ留めでよいですか。	1部ずつクリップ等(ホッチキス以外)で留めて提出してください。	H29.4.18
11	プレゼンテーション及びヒアリングは非公開と考えてよろしいですか。	貴見のとおりです。	H29.4.18
12	万が一浸水水位が0.5mとなった場合、緊急車両(消防車4台、救急車1台、指揮広報車1台の計6台)は、それぞれはどこで待機しどのように移動するのでしょうか。敷地内の移動は、どの範囲ででしょうか。	敷地内の浸水が予測される場合、緊急車両等は一時的に敷地外の浸水しない場所に職員とともに移動し、待機することになると想定されます。	H29.4.19
13	審査委員会の構成を教えてください。理事者?名、課長・グループ長等?名、主査等?名、議員?名、町民?名、学識経験者?名、他?名、計?名でしょうか。	審査委員は8名です。その構成については事前に公表しません。	H29.4.19
14	実施要領のp.14(2)技術提案書評価基準について、修正・変更はございませんでしょうか。	ありません。	H29.4.19

新庁舎配置車両

配置	種類	全長(cm)	幅員(cm)	高さ(cm)
役場車庫	貨物	604	194	215
役場車庫	バス	899	230	320
消防車庫	消防車(タンク車)	820	249	313
消防車庫	指揮広報車(三菱デリカD5)	473	179	205
消防車庫	消防車(第1分団車)	640	229	270
消防車庫	救急車(トヨタ)	560	189	249
消防車庫	消防車(水槽車)	813	249	300
消防車庫	消防車(ポンプ車)	769	225	308

※役場車庫は上記2台のほか、普通乗用車18台(合計20台)を収納可能とする。